

私は8月27日から1月7日までの約4か月間中国の北京師範大学に留学に行った。この留学を通して中国語能力の向上はもちろん、人としても大きく成長し、今まで自分が知らなかった中国の事情、文化に触れることで多くのことを学ぶことができた。

留学当初は日本と中国の生活に異なる部分もあり、生活に慣れるまでに私は人一倍時間がかかった。なかなか中国の食事に手を出すことができず持参した日本食ばかりを食べて生活していた。だが生活に慣れていくにつれ様々な中国料理を口にすると、どれもおいしいものばかりであった。特に本場の餃子はおいしく、何度食べても飽きないくらいだった。私にとって現地で中国語の勉強ができたことは大変貴重な経験になった。授業は全て中国語で行われるわけであるから最初は全く聞き取れず、非常に悔しい思いをした。だが予習・復習を繰り返していくことで徐々に授業の内容が理解できるようになり、先生やクラスメイトとも中国語を用いて会話できるようになったときは非常にうれしい気持ちであった。また日中交流会で知り合った北京師範大学の日本語専攻の女性には大変お世話になった。中国語の勉強において困っているときにはいつでも私を助けてくれ、週末になれば天安門や頤和園といった中国の有名な観光スポットやおいしい料理のお店に連れて行ってもらい有意義な時間を過ごすことができた。帰国が近づくにつれ彼女との別れを惜しむ気持ちが大きくなっていったが日本に帰国した今でも頻繁に連絡を取り合っている。中国人の友達をつくり交流できたことは中国の事情を知る上でも語学の勉強をする上でも私にとって一番大きかったように感じる。正直留学に行く前は中国に対して様々な面でありあまり良いイメージを持っていなかった。海外に行くのは今回が初めてであったためなおさら不安も大きかった。だが実際に中国を訪れると、私が思っていたイメージとはまったく異なっていた。中国には優しい人が多く、多くの人に助けられて私は生活できたと感じる。改めて思い込みでの決めつけは良くないと考えさせられた。

約4か月間北京に留学し何よりも中国語のレベルを上げることができたと感じる。行く前と行った後では中国語を聞き取る力、話す力を今まで以上に身につけることができた。また中国語に関する資格も取得することができた。初めて日本から離れた環境で生活してみても決してすべてが楽しいことばかりではなく、つらいこともあったが、忘れることのできない貴重な経験をすることができた。何よりも留学するにあたり多くの場面で支えてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいだ。家族に限らずサポートしてくれた国際情報大学や北京師範大学の先生方など多くの人に対して感謝の気持ちを忘れずにこれから生活していきたい。最近では中国人が日本を訪れる機会が多いため、通訳などで自分自身が役に立てたらと考える。そのためにはこれからも勉学に励む必要があるため頑張りたい。